

(磐梯町) 地域魅力向上・発信事業計画

令和8年3月時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)		各年度の交付対象事業費(注3)					総交付対象事業費	備考 (注4)	
				令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度			
1	A - 1	北塩原村・磐梯町連携情報発信事業	前回まで	(0)					(0)		
			今回	10,000					10,000		
			計	<10,000>	<0>	<0>	<0>	<0>	<10,000>		
2	A - 2	磐梯町・台湾観光交流人口拡大事業	前回まで	(0)					(0)		
			今回	9,996					9,996		
			計	<9,996>	<0>	<0>	<0>	<0>	<9,996>		
3	-		前回まで						(0)		
			今回						0		
			計	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
4	-		前回まで						(0)		
			今回						0		
			計	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
5	-		前回まで						(0)		
			今回						0		
			計	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
				前回まで	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
				今回	19,996	0	0	0	0	19,996	
				計	<19,996>	<0>	<0>	<0>	<0>	<19,996>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
磐梯町	○	A-1	北塩原村・磐梯町連携情報発信事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	20,000千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
10,000千円	5,000千円		○	○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所の原子力災害により、磐梯町を含む福島県の自治体は、科学的根拠に基づかない風評被害に苦しんでいる。 ・磐梯町においても、これまで各担当課において風評払しょくのため様々な取組を行ってきたものの、未だに観光入込客数が震災前までの水準に回復しておらず、風評被害が残っていることがわかる。 ・また、消費者庁（風評被害に関する消費者意識の実態調査（R7））によると、放射性物質を理由に購入をためらう産地として福島県を回答した人の割合は 6.2%となっており、昨年よりも 1.3 上昇しているなど、依然として一定の風評が残っている。 <p>【観光入込客数】 H22:118 万人 R6:106 万人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの 5 類移行後の経済活動の活発化や旅行需要が高まっている中で、令和 5 年 8 月の ALPS 処理水の海洋放出により、科学的根拠に基づかない風評により、磐梯町を含む福島県全体のイメージを低下、本町産品の買い控え、旅行需要の低下、移住候補先としてのプレゼンスの低下等が懸念される。 ・令和 4 年度より本事業に取り組んでいるが、風評の払拭やイメージの回復のためには長期的な取組が必要。
上記の現状の原因となる課題について
<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づかない誤った認識を持たれている方やそもそもの取組を知らない方がいるため、より一層理解の促進を図れていないことが課題である。 ・また、ALPS 処理水の放出により新たな風評の発生が懸念されるため、これまでの取組を継続していくことが重要である。 <p>そのため、引き続き、物販イベント等の実施により直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信を行い、磐梯町を含む福島県の地域の魅力、農産物や特産品の良さや安全性などを伝えながら販売できる物産展イベントなどを実施する必要がある。</p>

上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）

【令和4年度】

- ・令和4年2月16日～18日まで台湾人による「磐梯町冬遊びモニターツアー事業」の開催
- ・令和4年2月6日～10日まで「台湾国籍のインフルエンサーによる情報発信」の開催
- ・令和4年2月6日～10日まで東京駅 KITTE 地下一階イベントホール「東京シティアイ」での「磐梯町フェア」の開催。

【令和5年度】

- ・令和5年11月4・5日「磐梯町フェア&米と酒セミナー&新会津磐梯山盆唄お披露目」の開催
- ・令和5年11月6～8日「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」の開催、
- ・令和5年11月23日第35回OBCラジオまつりふれあい広場（大阪城公園）へ出展し、磐梯町の名水をPRしました（地域情報発信交付金事業）。
- ・令和5年10～2024年3月「企業コラボ by 磐梯町」と「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」の開催
30名の台湾の方々に磐梯町にお越しいただき、磐梯町の魅力発信や磐梯町の課題が調査されました。
- ・令和6年3月6～8日「台湾のロータリークラブ 磐梯町ツアー」を行いました。
20名の台湾のロータリークラブの方々に磐梯町にお越しいただき、佐藤町長への表敬訪問、磐梯町商工関係者との意見交換、シグマさんへの視察などをさせていただき、磐梯町商工関係者と台湾事業者との、台湾での商品販売連携の話が進んでいます。

【令和6年度】

- ・令和6年10月、台湾において発信力の大きい歌手の一青窈さんの姉である一青妙さんをリーダーに起用したサイクルツーリズムの実施、また台湾ロータリークラブサイクリング3480チームのサイクルツーリズムを通し、ツアーの模様を日本国内や台湾へSNS、動画等を通して広く情報発信をしました。
- ・令和6年11月13日14日、台北市で「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、BtoBの事業として旅行関係会社約60社80名の方々にご参加いただきました。また、11月16日には「淡水区」を視察し、今後の連携にあたっての基礎作りをいたしました。
- ・令和6年10月～2025年3月まで、「滞在型観光実証・ショートムービー@磐梯町」を実施しており、25名が参加。

【令和7年度】

- ・10月、12月、2月（R8）と三回にわたり東京都内（渋谷 QWS）において、「日台交流磐梯町イベント」を開催。日本酒の試飲や、観光大使と町長によるデスクッションなどを展開。
- ・11月14日に台北市内において「会津磐梯町座談会」（パネルディスカッション）を開催し、食品の安全性や地域の魅力を発信するとともに、来場者に磐梯町産日本酒の試飲を行った。また11月15日、16日の両日においては、新北市淡水区において「淡水×磐梯町愛着交流音楽祭」を開催し、磐梯町繁体字パンフレットの配布を行った。
- ・10月と、12月に台湾インフルエンサー招致事業を開催しSNS上で風評払拭に係る投稿を頂いた。

上記の取組における成果について

令和4年度は、主に在日の一般台湾人の方々をターゲットとして、モニターツアー、インフルエンサーツアーを開催し、YouTube再生回数37,000回や「いいね!」1,400人など多くの方に興味、興味を頂いており、また、「会津磐梯山」宝の山磐梯町フェアを開催し磐梯町の「名水」をはじめ特産品を紹介し、磐梯町の魅力を発信ができ情報発信の成果はあったと思われます。

令和5年度は、

令和5年11月4・5日に東京都渋谷駅前「SHIBUYAQWS」で開催しました。

- ・「磐梯町の米と酒」に興味のある台湾及び日本国内の方々に磐梯町の魅力を発信
- ・「酒の試飲会」「新米の試食会」行い、磐梯町特産品のPRを行った結果、米の販売や日本酒のイベントなどのお誘いを受け、現在、関係団体で検討をしています。
- ・会場において民謡会津磐梯山「磐梯町の会津磐梯山(公募による)」を磐梯町出身の若狭さちさん(NeoBallad)によるお披露目、また台湾人歌手による「磐梯町の磐梯山」を中国語でお披露目(映像にて)をしました。

磐梯町と台湾との友好を促進しました。

令和5年11月6～8日の「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」を開催しました。

- ・「秋の磐梯の魅力」として「台北駐日経済文化代表処」と「華僑各団体代表」の台湾VIPの方々を2泊3日招待いたしました。
- ・日本国内において台湾政府・華僑との密接な関係の構築をし、台湾との商工・観光の交流を促進しました。
- ・招待者は「台北駐日経済文化代表処」、「華僑各団体代表」としました。
- ・日本の大使館である「台北駐日経済文化代表処」の方々が磐梯町にお越しいただく事により、台湾新聞の方々が同行されました。それにより台湾国内に磐梯町を深く発信することができ、風評被害払拭に向けて多大な効果だと思えます。

令和5年11月23日第35回OBCラジオまつりふれあい広場（大阪城公園）へ参加をしました。

- ・磐梯町の安全安心と磐梯町の美味しさを新米の試食・試飲、リンゴの試食を通して味わって頂き、名水仕込みの特産品を多くの来場者にお伝えすることが出来ました。

- ・令和5年10～2024年3月「企業コラボ by 磐梯町」と「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」の開催

30名の台湾の方々に磐梯町にお越しいただき、磐梯町の魅力発信や磐梯町の課題が調査されました。

- ・令和6年3月6～8日「台湾のロータリークラブ 磐梯町ツアー」を行いました。

20名の台湾のロータリークラブの方々に磐梯町にお越しいただき、佐藤町長への表敬訪問、磐梯町商工関係者との意見交換、シグマさんへの視察などをさせていただき、磐梯町商工関係者と台湾事業者との連携の話が進んでいます。

令和6年度は、

・令和6年10月、台湾において発信力の大きい歌手の一青窈さんの姉である一青妙さんをリーダーに起用したサイクルツーリズムの実施、また台湾ロータリークラブサイクリング3480チームのサイクルツーリズムを通し、ツアーの模様を日本国内や台湾へSNS、動画等を通して広く情報発信をしていきました。

・令和6年11月13日14日、台北市で「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、BtoBの事業として旅行関係会社約60社80名の方々にご参加いただきました。また、11月16日には「淡水区」を視察し、今後の連携にあたっての基礎作りをいたしました。

・令和6年10月～2025年3月まで、「滞在型観光実証・ショートムービー@磐梯町」を実施し、約25名のエントリーがありました。

令和6年度の事業として、磐梯町観光コンテンツ開発として「サイクル事業」のスタート実施と、台北でのBtoBの事業としての「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、旅行関係会社約60社との関係構築が実現しました。

令和7年度は

⇒現在数量効果集約中。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. テレビドラマを活用したハイブリッド型プロモーション事業

①実施期間：令和8年4月～令和9年3月

②実施体制：連携（北塩原村／磐梯町）

③実施場所：首都圏及び北塩原村、磐梯町

④概算費用：22,000千円（連携する2町村がそれぞれに10,000千円を予算措置、取りまとめを行う北塩原村に自治体加算2,000千円を上乗せする）

⑤実施内容：テレビドラマを活用し、北塩原村、磐梯町の観光、物産に関する魅力に加え、風評払拭に向けた取組、食の安全性等を広く周知する番組を作成する。また、その後ドラマにちなんだリアル物産展を開催し、魅力を直に伝えながらPRする。

○番組はテレビ東京をキー局として、全国5局以上で放送を想定。（福島県でも放送予定）。また、放送後にU-NEXT、prime video、TVerでの配信を行う。

○また、出演者にもSNS等で発信してもらい、視聴率向上を図る。

○リアル物産展は、有楽町駅前広場を候補地としているが、その他集客が見込める場所も検討している。

○なお、ドラマは9月放送とし、10月以降で一定の広告をしたのち、物産展を行う。開催は1日間で休日を予定。

○内容は、野菜や米などの特産品の他、キッチンカーなどでその場で提供できる特産品も準備する。

※委託事業者及び取組の詳細についてはプロポーザルにより決定することを想定している。

【ドラマのイメージ】

・「物産展」をテーマとしたテレビドラマで、演者が2町村を巡りそれぞれの美味しい物産や観光地を紹介する。

・その後、ドラマにちなんだリアル物産展を首都圏において開催し、ドラマで紹介した物産を実際にも買えるようにすることで、よりプロモーション効果を高める。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容： 物産展において食品の安全性（福島県が行っている放射性物質検査の結果等）の説明を行う。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容： 2 町村の観光、物産当等の魅力をテレビドラマにより広く発信する。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
3.1 オリジナルテレビドラマ 1 本程度 3.1 動画制作 1 本程度 3.1 首都圏での物産展 1 回程度	3.1 ドラマ放送実績 全国 10 局以上 3.1 物産展来場者数 4,000 人以上
長期的な目標 ※ 1 つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載 (○%)
磐梯町への観光客入込数 (R11 年度目標値) 130 万人	磐梯町への観光客入込数 (R11 年度目標値) 130 万人 令和 6 年度の進捗状況 106 万人 81.5%

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
磐梯町		A-2	磐梯町・台湾観光交流人口拡大事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	20,000千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
9,996千円	4,998千円		○	○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所の原子力災害により、本町を含む福島県の自治体は、科学的根拠に基づかない風評被害に苦しんでいる。 ・本町においても、これまで各担当課において風評払しょくのため様々な取組を行ってきたものの、未だに観光入込客数が震災前までの水準に回復しておらず、風評被害が残っていることがわかる。 ・また、消費者庁（風評被害に関する消費者意識の実態調査（R7））によると、放射性物質を理由に購入をためらう産地として福島県を回答した人の割合は 6.2%となっており、昨年よりも 1.3 上昇しているなど、依然として一定の風評が残っている。 <p>【観光入込客数】 H22:118 万人 R6:106 万人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの 5 類移行後の経済活動の活発化や旅行需要が高まっている中で、令和 5 年 8 月の ALPS 処理水の海洋放出により、科学的根拠に基づかない風評により、本市を含む福島県全体のイメージを低下、本市製品の買い控え、旅行需要の低下、移住候補先としてのプレゼンスの低下等が懸念される。 ・令和 5 年度より本事業に取り組んでいるが、風評の払拭やイメージの回復のためには長期的な取組が必要。
上記の現状の原因となる課題について
<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づかない誤った認識を持たれている方やそもそもの取組を知らない方がいるため、より一層理解の促進を図れていないことが課題である。 ・また、ALPS 処理水の放出により新たな風評の発生が懸念されるため、これまでの取組を継続していくことが重要である。 <p>そのため、引き続き、物販イベントの実施により直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信を行い、風評に苦しむ生産者が実際に現地で、農産物の良さや安全性などを伝えながら販売できる物産展イベントなどを実施する必要がある。</p>

上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）

【令和4年度】

- ・令和4年2月16日～18日まで台湾人による「磐梯町冬遊びモニターツアー事業」の開催
- ・令和4年2月6日～10日まで「台湾国籍のインフルエンサーによる情報発信」の開催
- ・令和4年2月6日～10日まで東京駅 KITTE 地下一階イベントホール「東京シティアイ」での「磐梯町フェア」の開催。

【令和5年度】

- ・令和5年11月4・5日「磐梯町フェア&米と酒セミナー&新会津磐梯山盆唄お披露目」の開催
- ・令和5年11月6～8日「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」の開催、
- ・令和5年11月23日第35回OBCラジオまつりふれあい広場（大阪城公園）へ出展し、磐梯町の名水をPRしました（地域情報発信交付金事業）。
- ・令和5年10～2024年3月「企業コラボ by 磐梯町」と「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」の開催
30名の台湾の方々に磐梯町にお越しいただき、磐梯町の魅力発信や磐梯町の課題が調査されました。
- ・令和6年3月6～8日「台湾のロータリークラブ 磐梯町ツアー」を行いました。
20名の台湾のロータリークラブの方々に磐梯町にお越しいただき、佐藤町長への表敬訪問、磐梯町商工関係者との意見交換、シグマさんへの視察などをさせていただき、磐梯町商工関係者と台湾事業者との、台湾での商品販売連携の話が進んでいます。

【令和6年度】

- ・令和6年10月、台湾において発信力の大きい歌手の一青窈さんの姉である一青妙さんをリーダーに起用したサイクルツーリズムの実施、また台湾ロータリークラブサイクリング3480チームのサイクルツーリズムを通し、ツアーの模様を日本国内や台湾へSNS、動画等を通して広く情報発信をしました。
- ・令和6年11月13日14日、台北市で「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、BtoBの事業として旅行関係会社約60社80名の方々にご参加いただきました。また、11月16日には「淡水区」を視察し、今後の連携にあたっての基礎作りをいたしました。
- ・令和6年10月～2025年3月まで、「滞在型観光実証・ショートムービー@磐梯町」を実施しており、25名が参加。

【令和7年度】

- ・10月、12月、2月（R8）と三回にわたり東京都内（渋谷 QWS）において、「日台交流磐梯町イベント」を開催。日本酒の試飲や、観光大使と町長によるディスカッションなどを展開。
- ・11月14日に台北市内において「会津磐梯町座談会」（パネルディスカッション）を開催し、食品の安全性や地域の魅力を発信するとともに、来場者に磐梯町産日本酒の試飲を行った。また11月15日、16日の両日においては、新北市淡水区において「淡水×磐梯町愛着交流音楽祭」を開催し、磐梯町繁体字パンフレットの配布を行った。
- ・10月と、12月に台湾インフルエンサー招致事業を開催しSNS上で風評払拭に係る投稿を頂いた。

上記の取組における成果について

令和4年度は、主に在日の一般台湾人の方々をターゲットとして、モニターツアー、インフルエンサーツアーを開催し、YouTube 再生回数 37,000 回や「いいね！」1,400 人など多くの方に興味、興味を頂いており、また、「会津磐梯山」宝の山磐梯町フェアを開催し磐梯町の「名水」をはじめ特産品を紹介し、磐梯町の魅力を発信ができ情報発信の成果はあったと思われます。

令和5年度は、

令和5年11月4・5日に東京都渋谷駅前「SHIBUYAQWS」で開催しました。

- ・「磐梯町の米と酒」に興味のある台湾及び日本国内の方々に磐梯町の魅力を発信
 - ・「酒の試飲会」「新米の試食会」行い、磐梯町特産品のPRを行った結果、米の販売や日本酒のイベントなどのお誘いを受け、現在、関係団体で検討をしています。
 - ・会場において民謡会津磐梯山「磐梯町の会津磐梯山(公募による)」を磐梯町出身の若狭さちさん(NeoBallad)によるお披露目、また台湾人歌手による「磐梯町の磐梯山」を中国語でお披露目(映像にて)をしました。
- 磐梯町と台湾との友好を促進しました。

令和5年11月6～8日の「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」を開催しました。

- ・「秋の磐梯の魅力」として「台北駐日経済文化代表処」と「華僑各団体代表」の台湾VIPの方々を2泊3日招待いたしました。
- ・日本国内において台湾政府・華僑との密接な関係の構築をし、台湾との商工・観光の交流を促進しました。
- ・招待者は「台北駐日経済文化代表処」、「華僑各団体代表」としました。
- ・日本の大使館である「台北駐日経済文化代表処」の方々が磐梯町にお越しいただく事により、台湾新聞の方々が同行されました。それにより台湾国内に磐梯町を深く発信することができ、風評被害払拭に向けて多大な効果だと思います。

令和5年11月23日第35回OBCラジオまつりふれあい広場（大阪城公園）へ参加をしました。

- ・磐梯町の安全安心と磐梯町の美味しさを新米の試食・試飲、リンゴの試食を通して味わって頂き、名水仕込みの特産品を多くの来場者にお伝えすることが出来ました。

・令和5年10～2024年3月「企業コラボ by 磐梯町」と「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」の開催

30名の台湾の方々に磐梯町にお越しいただき、磐梯町の魅力発信や磐梯町の課題が調査されました。

・令和6年3月6～8日「台湾のロータリークラブ 磐梯町ツアー」を行いました。

20名の台湾のロータリークラブの方々に磐梯町にお越しいただき、佐藤町長への表敬訪問、磐梯町商工関係者との意見交換、シグマさんへの視察などをさせていただき、磐梯町商工関係者と台湾事業者との連携の話が進んでいます。

令和6年度は、

・令和6年10月、台湾において発信力の大きい歌手の一青窈さんの姉である一青妙さんをリーダーに起用したサイクルツーリズムの実施、また台湾ロータリークラブサイクリング3480チームのサイクルツーリズムを通し、ツアーの様様を日本国内や台湾へSNS、動画等を通して広く情報発信をしていきました。

・令和6年11月13日14日、台北市で「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、BtoBの事業として旅行関係会社約60社80名の方々にご参加いただきました。また、11月16日には「淡水区」を視察し、今後の連携にあたっての基礎作りをいたしました。

・令和6年10月～2025年3月まで、「滞在型観光実証・ショートムービー@磐梯町」を実施し、約25名のエントリーがありました。

令和6年度の事業として、磐梯町観光コンテンツ開発として「サイクル事業」のスタート実施と、台北でのBtoBの事業としての「会津・磐梯町フェア in 台湾」を開催し、旅行関係会社約60社との関係構築が実現しました。

令和7年度は

⇒現在数量効果集約中。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. 会津磐梯山PR事業 in 台湾

- ①実施期間：令和8年4月～令和9年3月
- ②実施体制：磐梯町 委託事業者
- ③実施場所：磐梯町、台湾（新北市、淡水区）
- ④概算費用：9,996,千円
- ⑤実施内容：「台湾との観光・文化交流を通じて、福島県産品の安全性・信頼性を直接伝える機会を創出し、科学的根拠に基づかない風評を是正することを目的とする。また、磐梯町の観光資源・食文化を現地で体験的に発信することにより、地域イメージの向上と観光需要の回復を図る。」

国外施策（6,997千円）

1. 盆踊りステージ

- 磐梯町の民謡教室メンバーを台湾に派遣し盆踊りを開催。
- 台湾参加者に浴衣体験＋踊りレクチャー。
- 台湾音楽とのコラボ演出（和太鼓＋台湾太鼓）。

2. 食文化交流

- 磐梯町の地酒・米・郷土料理を試食。
- 台湾料理とのコラボメニュー提供。

3. 観光 PR ブース

- 磐梯町の盆踊り映像+サイクリング動画上映。
- 「磐梯町旅行モデルプラン」パンフレット配布。

4. SNS 発信キャンペーン

- #盆踊り in 台湾 ハッシュタグで拡散。
- 台湾インフルエンサーによるライブ配信。

国内施策（2,998 千円）

1. 盆踊り体験で情報発信

- 地域住民による盆踊り披露。例年開催されている町内の盆踊りへのモニター招聘、台湾側インフルエンサー1名~2名を想定。日本側参加者1,500名ほど。
- 台湾モニターに浴衣体験+踊りレクチャー。
- 台湾語字幕付き PR 動画制作。

2. モニターツアーでの情報発信（日程：2泊3日、参加者：2名想定）

- サイクリング体験（磐梯山周遊）。
- 地酒・郷土料理試食。
- 星野リゾート宿泊体験。
- 台湾語字幕付き PR 動画制作。
- モニターによるリアルタイム投稿。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

食文化交流において食品の安全性（福島県が行っている放射性物質検査の結果等）の説明を行う。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

磐梯町（会津磐梯山）の観光、物産等の魅力を PR 動画および SNS により広く発信する。

⑧福島県内でイベント等の事業を実施する理由

(1)イベント等への参加者の半数以上が県外からの参加者となる理由とその確認方法：

モニターツアーは台湾を対象として募集することから、全員県外からの参加者となる。

(2)事業費の半分以上が県外への情報発信に要する費用となる手法：

モニターツアー参加者はすべて台湾からの参加者であることから、費用についても全額県外向けとなる。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
3.1 SNS 発信、参加人数×3本程度 3.1 動画制作1本程度 3.1 盆踊り（食文化交流）1回程度	3.1 動画の再生回数は 30,000PV 数、Facebook や Instagram などの「いいね」数 3,000 を目標。 3.1 盆踊り(食文化交流)来場者数 1,000 人以上
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載（○%）
磐梯町への観光客入込数（R11 年度目標値）130 万人	磐梯町への観光客入込数（R11 年度目標値） 130 万人 令和6年度の進捗状況 106 万人 81.5%